

教会はキリストのからだであり、いっさいのものをいっさいのものによって満たす方の満ちておられるところです。

エペソ人への手紙一章二三節

2016(28)年 週 報

4月3日

「下品な冗談を避ける」

第1 聖日

第 3449 号

聖
言

また、みだらなことや、愚かな話や、下品な冗談を避けなさい。そのようなことは良くないことです。むしろ、感謝しなさい。エペソ 5 : 4

礼拝の恵み 第二三章
第十部 礼拝の効果
礼拝の意義、重要性・権威・対象・土台・力・仕方・障害・場所と論じてきたので、結論として礼拝の効果について考えてこの研究を終りたい。礼拝の結果は偉大であって、神、信者、集会、未信者におよぶ。

第二節 集会の徳が高められるであろう。
礼拝に最高度の霊的準備が必要であることは、すでに述べた。しかし、こうした心の訓練は決してむだではない。信者各自を祭司たらしめる神の目的は、そうした信者たちが一つの集会に結び合わされて、神がかくありたもうこと、また、かくなしたもうことについて、心から感謝をささげるときに、達成されるであろう。こうしてみる一団の信者たちが第一のものを第一に置くならば、それによって聖徒たちは自分の最も聖なる信仰を高められるのである。それがまた巡り巡って、神がその民のために心中にもっておられる別の諸目的をも、達成する力を彼らに与えるであろう。真の奉仕への願いと能力とは霊的な礼拝から始まる。イザヤが「ここに私がおります。私をおつかわしてください。」(イザヤ六ノ八) 彼が主の栄光を見、神の御前の威厳に感銘した後でのことであつた。(A P ギブス「礼拝」より)

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 兵庫県神戸市長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一六年三月二七日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「イエスの復活」

「キリストは死者の中からよみがえられて、もはや死ぬことなく、死はもはやキリストを支配しないことを、私たちは知っています。」（ローマ六ノ九）

祈り

イースターの朝を迎えます。弟子たちはイースターの朝を境に死から命に逆転しました。天と地が逆転しました。天の命が地上の死んでいるものに、キリストの復活により与えられたのです。死で終りでなく、死が希望に変えてくださいました。死を恐れることなく、死を前提として毎日を送らせて下さい。

日本では死は忌み嫌われています。しかし、世界は死のにおいで覆われています。ISのテロで多くの犠牲者が出ています。日本人もテロに巻き込まれています。原発テロも企てていることが発覚しました。このままでは世界は滅んでしまいます。暗い話をしましたが、今日は一番明るい日です。なぜなら、キリストが墓の中よりよみがえってくださったからです。イエス様は十字架につけられて約六時間で息を引き取られました。ローマの総督は兵隊に確かめさせ、イエス様のわきばらを槍でつくると血と水が噴出したのです。アリマタヤのヨセフという金持ちの弟子がピラトに遺体のひき渡しを願って許可され

死体を十字架より降ろしました。両手、両足に刺した大きな釘を抜いたのです。もし主イエス様が生きておられたなら、その痛さで悲鳴をあげたでしょう。安息日が始まるので、手早く処置をして新しい自分の墓に納めました。それをマグダラのマリヤや他の女の弟子たちが眺めていました。なぜなら、安息日が

終わると、遺体を綺麗にしようと思っていました。大祭司たちは主イエス様が三日目によみがえるということを聞いていたので、兵士に墓を監視するようにピラトに要請しました。なぜなら、弟子が主イエス様の遺体を盗んで、よみがえったといふらしたら、主イエス様が生きておられたときより、民衆は騒ぎ出すと考えたからです。しかし、弟子は誰一人、復活することを信じていた者はいませんでした。全員部屋に隠れていたのです。横穴をほってそこに主イエスの遺体を納められました。入り口は大きな石でふさぎ、おまけに封印をしていました。最近小型金庫がよく売れるそうです。マイナス金利で銀行に預金をするメリットがないためです。しかし、強盗に盗まれることがあります。しかし、主イエス様の遺体を盗まれないように厳重に警戒をした。それにもかかわらず、遺体をまいた布はたんとおいてあって、遺体はなくなっていました。マグダラのマリヤは空の墓の前で泣いていると、ひとりのひとが近づいてきました。墓の管理人だと思い、主イエスの遺体をどこに移したのかと聞くと、マリヤと呼んだので主イエス様だと分かりました。私たちが常識と自分の経験でなく、今日、空のはかの前にひざまずきましょう。そして天地は過ぎてても永遠に変らない御言葉により、主イエスさまの復活を信じましょう。そうするなら、主イエスがマリヤに語ったように私たちにも語りかけてください。主イエス様が死なれたのは罪のためであり、彼の死によりて死は無力になってしまいました。私たちも罪に対して死んだ者であり、神に対してはキリスト・イエスにあつて生きた者とおもいなさい。

二〇一六年三月三〇日午後七時 祈祷会 山本牧師

「獅子の穴に投げ込まれたダニエル④」(ダニエル連第二三回)

「神様が天使を送って獅子の口を閉ざしてくださいましたので、わたしはなんの危害をうけませんでした。神様に対する私の無実が認められたのです。そして王様、あなた様に対しても、背いた事はございません。」(ダニエル六ノ二三)

江戸時代に踏み絵をさせて、イエス様の肖像画を踏まない者を捕まえた。京都では子どもから老人まで二四人が踏み絵を拒否したので長崎まで引きずり回されたのち十字架にかけられ殉教しました。カトリック教会では二四聖人と言われています。最近では信仰のゆえに君が代斉唱や国旗に対して起立しない教師を処罰しています。戦前では内村鑑三が教育勅語で敬礼をしなかつたことで国民から非難されました。今も昔もダニエルのように主イエスを信じるものは迫害がある。ダニエルは祈るのを一月だけ密かにしていたら、捕まらずに済んだのに、いつものように、エルサレムに向かって日に三度祈った故に逮捕された。ダニエルは殺される以上に神様との会話がなくなることを恐れた。ダニエルの信仰に倣い、どんな時にも神様との交わりを途切れさせてはなら来

信仰黙想

私が信仰をして嬉しく思うことは、神様は必ず願いをお聞きくださるということ。特に母親が礼拝にまがりなりにも出席していることです。牧師の母親なのにノンクリスチャンといわれるのを気にしていました。神様は母の心を開き、礼拝に導いてくださいました。私の力ではとうていできないことです。ですから、神様は生きておられることを信じ、御言葉に忠実でなければなりません。それから、現代はあらゆる面で生き難い時代であればこそ、多くの人々の考えを受け入れると共に、ますます、神様の御言葉にたち、主イエスの御再臨に間に合う信仰をもたねばなりません。そうでないと、御言葉をないがしろにした、日和見主義の偽善者となってしまいます。

イースター年度末克己献金実施中

予算 八十万円 乞う。祈りと協力

役員、牧師一同

教会総会

四月一七日(日) 礼拝後

教会の大事な行事です。全員出席しましょう。欠席の方は委任状を出してください。役員、牧師